電子システム工学科　　　　平成 27 年度

科　目　名	電子システムセミナーⅡ Seminar in Electronic Systems EngineeringⅡ			担当教員	全教員		
学　　年	５年	学　　期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分　　野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	15236031	単位区別	履修
学習目標	専門的な技術を習得し，同時に研究の方法を体験的に学び，研究態度を身に付ける。1 年間の研究計画を立て計画的に継続して研究を進め，自主性と自己を律して継続して研究する姿勢を身に付ける。また，研究を通して，問題発見能力や問題解決能力を培う。研究の経過及び研究論文の作成によって論述能力を磨く。卒業研究発表を通してプレゼンテーションの能力を磨く。						
進 め 方	指導教員との意思の疎通を図り，自主的に継続して，計画的に取り組む。						

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	【平成 26 年度研究テーマの例】 1. VHDL を用いた回路の設計製作実験教材の開発 2. 地域ニーズによるソフトウエア開発 3. 強化学習に関する研究 4. ネットワーク電子掲示板を利用したコミュニケーションの実現について 5. 赤外線スペクトルイメージングに関する研究 6. 新しい眼底カメラ開発に関する研究 7. 呼吸モニターに関する研究 8. Sol-Gel 薄膜個体拡散源を用いた半導体デバイスの設計，製作，評価 9. 半導体デバイス極微裁可のための電子線リソグラフィーの基礎的研究 10. CMOS-IC のピン浮き検出に関する研究 11. 教育用電子回路設計環境の構築 12. 光音響分光法（ＰＡＳ） 13. 窒素検出器の開発 14. ソフトウエアの開発 15. 透明電極の作成と評価 16. 有機薄膜とデバイスの作製と評価	研究に関する基礎知識を身につけている D2:3 研究計画を立案することができる E1:2 コミュニケーションを取りながら研究を遂行できる B1:2, B2:2, B3:2 文献調査などの情報収集が出来る C1:1, D5:2 研究課程で生じた問題を解決できる E5:2 継続して研究に取り組むことができる E6:1 研究内容を文章や口頭で論理的に説明できる B2:2 情報機器を活用して報告書や資料を作成できる C2:1-2 C3:1-3 情報機器を活用して口頭発表ができる C4:1-7

評価方法	各指導教員が学生それぞれの研究に対する取り組み方，研究成果，報告書，口頭発表等を総合的に評価する。
履修要件	
関連科目	指導教員や研究テーマごとに異なる。
教　　材	指導教員が個別に用意する。
備　　考	この科目は指定科目です。この科目の単位修得が進級要件となりますので，必ず修得して下さい。 オフィスアワー：担当教員単独の開講科目を確認し打ち合わせを行ってください。